

政治利用されたオリンピック①

ナチス一色のベルリン大会（1936年）



近年のオリンピックは崇高な理念とはうらはらに、商業主義や過度な勝利主義に陥り、国威発揚や政治利用などの問題が指摘されています。

オリンピックの政治利用が始まったのは、1936年のベルリンオリンピックが最初とされています。

聖火リレーが企画されたのは、後にドイツ軍が、第二次世界大戦でバルカン半島を南下する、下調べ・準備でした。

ヒットラーは、このオリンピックを、「アーリア人の優性」を誇示することに利用しようとしていました。が、結果的には黒人選手のジェシー・オーエンス、マラソンでは、朝鮮人の孫基禎がヒーローになり、ヒットラーの夢は潰えました。

大会会場には、ナチスのシンボル・ハーケンクロイツが張り巡らされ、開会式をはじめヒットラーの権勢を誇示するものでした。このヒットラーの目論見に反対する運動が、英国を中心に垣間見られました。



政治利用されたオリンピック①

ナチス一色のベルリン大会（1936年）



近年のオリンピックは崇高な理念とはうらはらに、商業主義や過度な勝利主義に陥り、国威発揚や政治利用などの問題が指摘されています。

オリンピックの政治利用が始まったのは、1936年のベルリンオリンピックが最初とされています。

聖火リレーが企画されたのは、後にドイツ軍が、第二次世界大戦でバルカン半島を南下する、下調べ・準備でした。

ヒットラーは、このオリンピックを、「アーリア人の優性」を誇示することに利用しようとしていました。が、結果的には黒人選手のジェシー・オーエンス、マラソンでは、朝鮮人の孫基禎がヒーローになり、ヒットラーの夢は潰えました。

大会会場には、ナチスのシンボル・ハーケンクロイツが張り巡らされ、開会式をはじめヒットラーの権勢を誇示するものでした。このヒットラーの目論見に反対する運動が、英国を中心に垣間見られました。



政治利用されたオリンピック②

平和のための埼玉の

戦争展

モスクワ大会（1980年）ボイコット

1980年1月4日、アメリカのカーター大統領が突如、ソビエトのアフガニスタン侵攻を理由に「モスクワオリンピックボイコット」を言い出しました。これは、オリンピック関係者に大混乱をもたらしました。

日本政府は、これに追従し、スポーツ予算を握っている文科省スポーツ局を中心に、JOCに参加拒否を要請しました。政治介入だという意見もあり紛糾しましたが、結局、参加をボイコット。自主的・民主的組織であるJOCへの政治介入がなされたという大きなできごとでした。

世界的に見るとイギリスなどは、アメリカの意を受けたサッチャー首相からの圧力を、BOA(英国オリンピック協会)副会長のノエル・ベーカー卿らが中心になってはねのけ、モスクワオリンピックに参加しました。

権力のモスクワオリンピック介入に対し

て、日本のスポーツを愛好する人々、中野好夫、古在由重、淡谷のり子、丸岡秀子、大田堯、藤原審爾さんらが、権力の介入を危惧する声明を発表。さらには、根本的にスポーツと平和を考える運動を起こす必要性を感じた大島鎌吉、川本信正、中野好夫、古在由重、関谷綾子さんの呼びかけで、「スポーツと平和を考える会」が設立されました。設立総会には、韓国から孫基禎さんの参加もありました。



「毎日新聞」(1980年5月25日)

オリンピックにおけるテロ・災害などの発生状況

1972	西ドイツ	ミュンヘン	イスラエル選手宿舎襲撃/選手・コーチら11人。犯人5人。警察1人が死亡
1988	韓国	ソウル	前年に大韓航空爆破事故
1996	アメリカ	アトランタ	公園で爆破テロ。2人死亡、100人以上が負傷
2000	オーストラリア	シドニー	イスラム原理主義者のテロリストグループがシドニー郊外の原子炉を爆破する計画を企てていた。未然に摘発
2002	アメリカ	ソルトレークシティ	前年に同時多発テロ発生
2004	ギリシャ	アテネ	大会100日前、アテネ中心部で爆弾テロ事件が発生。警察署の建物付近で時限爆弾3個が爆発、警察官1人が軽傷
2008	中国	北京	1月に大雪、3月にチベット騒乱。5月に四川大地震
2012	イギリス	ロンドン	サイバー攻撃予告。未実施
2014	ロシア	ソチ	前年、ヴォルゴグラードで、バスや駅舎が爆破される事件がつづき、あわせて41人が死亡、120人が負傷

■オリンピックと旭日旗
2021年の東京オリンピック会場に、旭日旗を持ち込もうとするうごきに対して、日本政府は問題ないとしています。しかし旭日旗は、旧日本軍の軍旗などとして使われており、いまでも軍国主義やナショナリズムのシンボルとして使用されています。海外からはナチスのハーケンクロイツ(かぎ十字)のような「戦犯旗」との指摘もあります。旭日旗の持ち込みは、「人間の尊厳を保つことに重きを置く平和な社会の推進」というオリンピックの目標とは相容れない、との指摘に耳を傾けることが大切です。
[東京新聞](2019年9月25日)▶

5 社説: 2019年(令和元年)9月25日(水曜日)
五輪と旭日旗
来年の東京五輪で、競技会場への旭日旗の持ち込みが認められる見通しだ。しかし、この旗は、歴史的な経緯もあり、周辺国からの反発を生みかねない。大会の成功のためにも再考を求めたい。
韓国政府は、旭日旗について「周辺国家に被害の軍国主義と帝制の象徴と認識されている。ナチスのハーケンクロイツ(かぎ十字)のような戦犯旗」と主張して、問題ないとの立場を表明している。旭日旗は、ドイツのかぎ十字のようには法律で禁止されているわけではない。自衛隊旗として使用するも許されている。
政府は、旭日旗のデザインは、大漁旗など民間で広く使われており、「政治的意味にはならない」として、問題ないとの立場を表明している。旭日旗は、ドイツのかぎ十字のようには法律で禁止されているわけではない。自衛隊旗として使用するも許されている。
韓国政府は、旭日旗について「周辺国家に被害の軍国主義と帝制の象徴と認識されている。ナチスのハーケンクロイツ(かぎ十字)のような戦犯旗」と主張して、問題ないとの立場を表明している。旭日旗は、ドイツのかぎ十字のようには法律で禁止されているわけではない。自衛隊旗として使用するも許されている。
政府は、旭日旗のデザインは、大漁旗など民間で広く使われており、「政治的意味にはならない」として、問題ないとの立場を表明している。旭日旗は、ドイツのかぎ十字のようには法律で禁止されているわけではない。自衛隊旗として使用するも許されている。

埼玉出身の戦没オリンピック・鈴木間多さん①

鈴木間多の出身は埼玉県比企郡三保谷村（現・川島町）で、村長などを務めた鈴木庸三の3人兄弟の末っ子として生まれます。

少年時代から運動能力に優れ、旧制川越中学（現・川越高校）入学後、陸上部に入部。めきめきと頭角を現し、中学5年（1930年、昭和5年）の夏、神戸で開催された第16回全国中学校陸上競技選手権大会（現在のインターハイ）の200メートルで優勝。慶應義塾大学へ進学した間多は、1934（昭和9）年5月からマニラでおこなわれた第10回極東選手権大会の選考競技会200メートルで4着に入り、国際大会出場選手の一員に。

極東選手権大会では200メートル決勝で3位入賞を果たしました。

極東選手権大会から帰国後、第12回早慶対抗陸上競技大会100メートルで、10秒6を記録します。世界に通用する大会新記録が誕生した瞬間でした。

国際情勢の緊張が高まるなか、1936（昭和11）年8月、第11回オリンピックベルリン大会に出場。間多は100メートルを10秒6で走りますが、悔しくも予選D組4着で落選してしまいます。間多にとっては悔いの残る大会となりましたが、4年後に開催予定の東京大会に夢をつなぎます。



▲鈴木間多さんの生家（川島町）



◀オリンピックで使用したスパイク



5か国対抗陸上競技大会（ベルリン）



第11回国際オリンピック大会（ベルリン）
左から2人目が鈴木間多さん



東京オリンピックの準備がすすんでいることを報じる「写真週報」（1938年4月6日第8号）

埼玉出身の戦没オリンピック・鈴木間多さん②



出征する鈴木間多さん（1939年4月）

ベルリンから帰国後の12月、次第に中国との全面戦争に情勢が変わっていきました。

間多は大学卒業後、日立製作所に入社しますが、1937（昭和12）年7月、日中戦争が勃発。間多は東京オリンピックへのかき消すことのできない無念さを胸にしなが、12月、日立製作所を辞し、陸軍に志願兵として入隊。1939（昭和14）年4月には峰木部隊に編入され、中国北部に出征を命じられた間多は、中国戦線における最前線の戦場に派遣されます。

7月10日午後5時、間多は河南省黄河北岸にて戦死しました。世界的スプリンターの早すぎる死が悼まれました。享年26歳でした。



鈴木間多さんの村葬（上）と戦死を報じる新聞記事（右）



戦地での鈴木間多さんを報じる新聞（「朝日新聞」1939年4月28日）

① 内田 正練 水泳 北海道大 1945年/ニューギニア(47) 海軍司政官	⑭ 村山 又芳 ボート 慶応大 1945年/国内(32) 不明	⑳ 新井 茂雄 水泳 立教大 1944年/インパール(27) 陸軍中尉
② 斎藤 謙洋 水泳 立教大 1944年/マニラ(40) 報道班員	⑮ 土井 修爾 水球 早稲田大 1938年/国内(29) 不明	㉔ 大沢 政代 飛び込み 九段精華高女 1946年/旧満州(32) 陸軍軍属
③ 相沢 巖夫 陸上 京都大 1945年/ルソン島(29) 陸軍司政官	⑯ 西 竹一 馬術 陸軍騎兵学校 1945年/硫黄島(42) 陸軍大佐	㉕ 竹内 悌三 サッカー 東京大 1946年/シベリア(37) 陸軍主計少尉
④ 落合 正義 陸上 明治大 1939年/中国河南省(29) 陸軍上等兵	⑰ 大江 季雄 陸上 慶応大 1941年/ルソン島(27) 陸軍少尉	㉖ 松永 行 サッカー 東京高師 1943年/ガダルカナル島(28) 陸軍大尉
⑤ 長尾 三郎 陸上 関西大 1943年/ニューギニア(33) 陸軍伍長	⑱ 高野 重幾 陸上 明治大 1945年/国内(37) 不明	㉗ 右近徳太郎 サッカー 慶応大 1944年/ブーゲンビル島(31) 陸軍兵長
⑥ 阿武 巖夫 陸上 慶応大+中央大 1939年/中国広西省(29) 陸軍上等兵	⑲ 鈴木 房重 陸上 日本大 1945年/ルソン島(31) 陸軍伍長	㉘ 高橋 豊二 サッカー 東京大 1940年/国内(24) 海軍飛行隊士
⑦ 武村 寅雄 水泳 明治大 1945年/ミンダナオ島(31) 陸軍兵長	⑳ 谷口 睦生 陸上 関西大 1943年/ブーゲンビル島(30) 陸軍中尉	㉙ 満留 勉 ボート 早稲田大 1945年/沖縄(31) 陸軍大尉
⑧ 河石 達吾 水泳 慶応大 1945年/硫黄島(33) 陸軍大尉	㉑ 鈴木 間多 陸上 慶応大 1939年/中国河南省(26) 陸軍少尉	㉚ 吉本 善多 ヨット 同志社大 1944年/インパール(29) 陸軍伍長
⑨ 横山 隆志 水泳 早稲田大 1945年/国内(31) 陸軍二等兵	㉒ 高田 静雄 陸上 旧別荘中中退 1963年/国内(54) 自営業	㉛ 有本 彦六 体操 日本体育会体操学校 1945年/東シナ海(29) 海軍中尉
⑩ 石田 英勝 飛び込み 慶応大 1945年/フィリピン(36) 陸軍特務飛行隊員	㉓ 吉田 喜一 水泳 早稲田大 1944年/ミンダナオ島(25) 陸軍中尉	㉜ 若山 滄美 水球 早稲田大 1941年/中国(27) 陸軍主計大尉
⑪ 柴田 勝見 ホッケー 東京商大 1942年/中国河南省(32) 陸軍兵長	㉔ 前田 倍三 水球 早稲田大 1943年/ソロモン諸島(28) 不明	㉝ 脇坂 真夫 ホッケー 東京商大 1945年/フィリピン(29) 不明
⑫ 中村 英一 ホッケー 慶応大 1945年/国内(36) 陸軍准尉	㉕ 児島 泰彦 水泳 慶応大 1945年/沖縄方面(26) 海軍主計少佐	㉞ 木谷 徳雄 スケート 滋賀国大和学友 1947年/シベリア(37) 満鉄社員
⑬ 斎藤 盈夫 ボート 早稲田大 1939年/中国河南省(29) 陸軍少尉	㉖ 田中 一男 水泳 早稲田大 1945年/ニューギニア(32) 海軍兵長	

【表の見方】
上段は名前、競技、出身校。
下段は戦没年、戦没地、享年(一部推定)、軍籍・肩書。

●戦没オリンピックとは

ベルリンのスポーツ博物館では、戦没オリンピックを「戦争と暴力によって亡くなったオリンピック選手」と定義。「暴力」で殺されたとは、罪がなく理不尽に殺された人のことを指しています。

日本では「従軍し外地または内地において戦争が原因で死亡した五輪選手」とされており、戦時中の「病死」「事故死」また「原爆の後遺症」で亡くなったオリンピックは除外されています。

上表は、「東京新聞」（2019年12月6日）に掲載された広島市立大名誉教授の曾根幹子さんが調査した38人の戦没オリンピックに関する名簿です。

オリンピックと孫基禎さん①

ベルリンオリンピックで優勝したが… 植民地支配のもとで

孫基禎 (1922年8月29日生まれ～2002年11月15日没) は、朝鮮が日本帝国主義支配下の新義州で生まれ、2002年に亡くなるまで、波乱万丈の人生を送りました。天賦の才能が開花して、1934年以降、長距離、マラソンで優勝を総なめしました。

1936年ベルリン五輪代表選考会で優勝しましたが、ベルリン現地での選考会を強いられました。しかし、そんなハンデを乗り越えて、1936年8月9日、2時間29分19秒の世界新記録で優勝しました。

表彰式では、朝鮮人であった、孫基禎の思いもよらぬ事件が出現しました。日の丸が掲揚され、君が代が演奏されたのです。孫基禎は、式典の間、日の丸を仰ぎ見ることは無く、胸の日の丸は、表彰式で得た月桂樹で隠しました。



日本選手団の入場行進。旗手は主将・大島鎌吉。背が低く前方に並んでいた孫基禎を見て、「帝国軍人が、朝鮮人や女の後ろを行進できるか！」と叫んだ軍人に対し、大島が「ここはオリンピックの場である。陸軍軍人も朝鮮人もあるか！」と一喝。これを契機に、孫基禎の大島への人間的信頼は深まり、一生涯、人生の師・兄として尊敬し、行動を共にする。



(右) 大歓声のなか、驚異的なスピードでテープを切る孫基禎
(左上) 折り返し点で力走する孫基禎。後は2位となったイギリスのハーパー
(左下) 表彰台に立つ孫基禎(中央)と南昇竜(左)、アーネスト・ハーパー(右)。孫基禎は月桂樹で胸の「日の丸」を隠し、南とともにうつつむいている

オリンピックと孫基禎さん②

消えた日の丸…「東亜日報」発禁事件

孫基禎の優勝は、植民地支配下で鬱屈とした日を送っていた朝鮮人に大きな励ましを与えました。しかし、そのことが、孫基禎に対する、弾圧・監視に繋がっていきました。

孫基禎の思いは、ソウルの「東亜日報」の編集者も同様で、写真にあった孫基禎の胸の日の丸を消してしまいました(写真左下)。それに怒った、朝鮮総督府、特高警察は、「東亜日報」の関係者を処分し、「発禁」にしてみました。

孫基禎は、当時の普専（高麗大学）に入学しましたが、彼を歓迎する学生たちの集会は、朝鮮独立を陰謀する集会だとして、警察に蹴散らかされました。

このまま、ソウルにいては、みなさんに迷惑をかけると心配した孫基禎は、日本に渡り「明治大学」に入学しましたが、陸上競技には参加しないと命令されました。

彼の遺言は「箱根駅伝を走りたいかった」でした。



(上) 優勝し、凱旋で帰国したとき、腰にサーベルの警官と私服刑事に理不尽に拘束される孫基禎（1936年10月8日、汝矣島（よいど）飛行場）

戦後の孫基禎さん 祖国の解放と スポーツへの思い



1950年のボストンマラソンで、1、2、3位を独占した韓国チーム。右後方が孫基禎

孫基禎は1945年、植民地支配から解放された韓国において、政治の世界に勧誘されましたが、自分を育ててくれた「スポーツ」界で働くことを固く決意し、自宅を合宿所にし、マラソンの普及に尽力しました。その成果は1950年のボストンマラソン1、2、3位独占という輝かしい成果を出しました。ところが1950年6月20日に凱旋した、5日後、朝鮮戦争が勃発してしまいました。「スポーツは平和な時代しか繁栄しない」と確信しました。

平和・平等・人権を求めての埼玉の

孫基禎が、ベルリン五輪のときの表彰台で、日の丸・君が代に対して密かに抵抗し、自己主張をしましたが、その後、スポーツ界のなかでも、体制・権力がもたらす不条理に対して、堂々と物申し、行動するスポーツマンが出現しました。平和・平等・人権を求めての行動・発言でした。彼らの持つ知名度から、世間やスポーツ界に、大きなインパクトを与えました。その後、昨今のアメリカにおける「ブラック ライブス マター」の影響を受けて、大坂なおみ、八村塁などの選手も発言するようになっていきます。



提供：共同通信社

■小平奈緒と李相花

2018年の平昌冬季五輪で、女子500m決勝の直後、小平奈緒選手は、3連覇を逃し、泣きじゃくる李相花選手に駆け寄り、「チャレソ（よく頑張ったね）、今でも貴女を尊敬しているよ」と慰めました。オリンピック精神を発露した美しい光景でした。

後に、小平は、「友情と言うきれいごとだけではなく、二人で築き上げた絆があります。私がだめだった時には、一緒に泣いてくれて、彼女から力をもらって次のステップにすすめた」と発言しています。

スポーツの相手は、敵ではなくて自分を高めてくれる「仲間」であるという事、オリンピックの真髄を言い当てた至言です。

■エミール・ザトペック（1922～2000年）

チェコの陸上選手 ヘルシンキ五輪、5000m、10000m、マラソンの3種目で金メダル三冠。「人間機関車」と言われた。三冠獲得後のインタビューで「世界の全てのスポーツマンは、世界の諸民族の友好を強め団結しよう。平和のために前進しよう」と訴えました。後にも、世界平和評議会のアピールに署名しました。さらに、ソビエト軍の侵入に対しても反対しました。1968年の「2000語宣言」に署名し（プラハの春）、時の政権から迫害されました。

■モハメッド・アリ（1942～2016年）

ローマ五輪(1960年)ライトヘビー級で金メダル獲得。プロ転向後、ヘビー級チャンピオンになり、幾多の勝利を得るが、1967年「良心的徴兵拒否」を行使して、禁固5年。罰金1万ドルを言い渡されました。BBCのインタビューで、その理由を問われ、「俺は何で1万マイルも離れた貧しい国まで出かけて行って、白人が有色人種を支配しつづけるために、人を殺し、国を焼き払うのを、手助けをしなければならないのだ」と発言。後にアトランタ五輪の聖火ランナーとして復権しました

■ベラ・チャスラフスカ（1942～2016年）

チェコの体操選手、1964東京五輪個人総合金メダル。1968年のチェコ民主化運動（プラハの春）の「2000語宣言」に署名。1968年のソビエト軍の侵攻にも抗議しました。1989年の市民フォーラムに参集した大群衆の前で、「私は11月17日にプラハで起こった事に抗議します。スポーツ選手としてまた人間として今言わなければならない。私は卑怯者ではないのだと」演説し、学生たちと共にある事を鮮明にしました。

■ブラックパワーサリュート

（1位トミー・スミス、3位ジョン・カルロス）

メキシコ五輪の200m男子の表彰式で、米国の黒人選手が星条旗を仰ぎ見ず、黒手袋を掲げ、米国における黒人差別を告発。これは、米国内で興隆していた、マルチン・ルーサー・キング牧師の公民権運動に呼応したものでした。帰国後は、きびしい弾圧が待ちっていました。この時、2位に入賞した、ピーター・ノーマン（オーストラリア）は、米国選手の実行を事前に知らされ、その賛意を示す、Olympic Project for Human Rightsのバッジを胸につけて表彰台に上がりました。彼もまた、帰国後はきびしい弾圧にあいました。

スポーツは平和であってこそ

■オリンピックは平和の祭典

過去のオリンピックで中止になったのは、1916年、1940年東京、1944年の3度です。すべて戦争が原因でした。

古代のオリンピック(776BC～394AD)では、当時のギリシャ国内は、数か国の都市国家に分かれていて、争いもありましたが、オリンピック期間中は、停戦をして参加をしていました。(Ekecheiria)

「オリンピックは平和の祭典」と言われる由縁はここににあります。

近代オリンピックの創始者・クーベルタンは、「国際戦争という、汚らわしい苦悩を終結させ



1896年のIOC委員。前列左端に座っているのが、オリンピック創始者・クーベルタン。

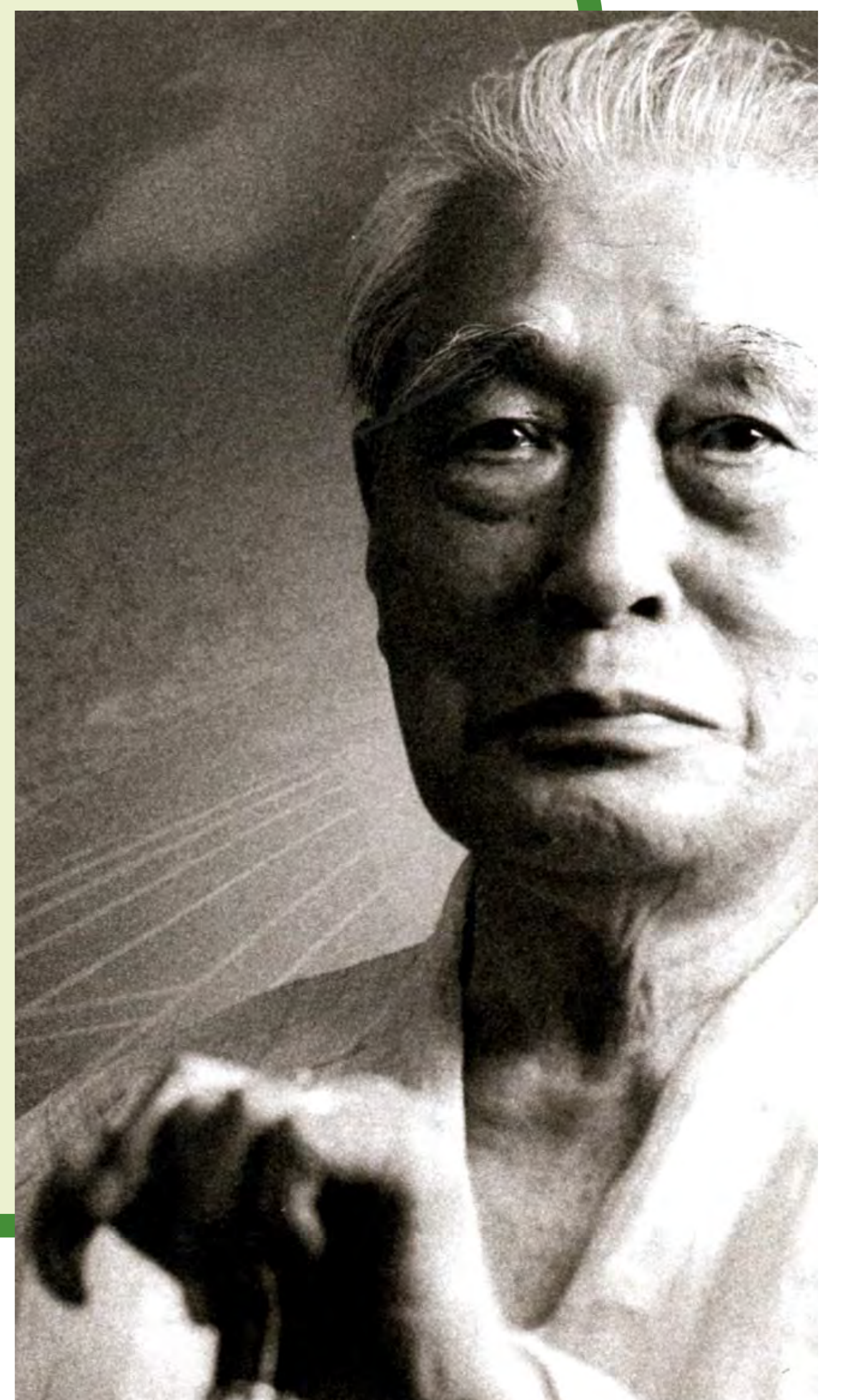
ることを、オリンピック・ムーブメントが、援助すること」と述べています。これが、オリンピック思想の根幹をなしています。

■スポーツは平和な社会のなかでこそ発展する……孫基禎

「戦争は勝っても負けても、鉄砲の弾に当たれば人は死ぬ。スポーツの戦いは、時は国を背負っているときもあるが、終わってしまえば、ユニフォームを交換して、今日は負けたけど、また明日は頑張ろうと言って、ユニフォームを交換する。平和だよ！平和が一番大切だ」

「スポーツの相手は、敵ではない。自分を高めてくれる大切な『仲間』である。お互いに尊敬しあえる仲間である」

孫
基
禎



■孫基禎さんの人生から「東京オリンピック」を考える

オリンピズムに象徴される、スポーツを通じた相互理解、友好連帯の思想は、今日のIOC・JOCなどの組織の変質によって途絶えるのか…。東京オリンピックは、その根本原則である、オリンピック憲章の精神—スポーツによる友好連帯・相互理解を促進する—実現のために努力しなければなりません。

オリンピックは、多種目の世界選手権でもなければ、お金の儲かるイベントではありません。

ヘイトスピーチなどを無くし、豊潤な多文化共生社会の実現こそ、東京オリンピックの課題です。日本社会における差別・貧困・震災、原発被害者、外国人技能労働者に心を寄せることが求められています。

受け継がれる孫基禎さんの思い

孫基禎、南昇竜がベルリン五輪表彰式で見せた植民地支配の不条理に対する抗議は、戦後のスポーツマンたちにも脈々と繋がり、人間の尊厳・反戦平和の思想は地下水のようにつながっています。

平昌五輪の小平奈緒、李相花の行動や、BLM（ブラック・ライヴズ・マター）運動に呼応した、大坂なおみの運動に明かりを見出すことができます。



(上右) ベルリンオリンピックで優勝した際に贈られたものの孫基禎さんの手元には届かなかったマラトンの青銅の兜。50年の歳月を経て手渡された兜をかぶり、笑顔で答える孫基禎。

(下左) 1980年、日本がモスクワオリンピックをボイコットした際に、結成された「スポーツと平和を考える会」。

1964年 東京五輪閉会式

閉会式の行進は、隊列を崩し、各国選手が入り乱れて行進した。「そこには国境を越え、宗教を超えました美しい姿があります。このような美しい姿を、見たことはありません。まことに和気あいあい、呉越同舟。グリーンブレザーの隣には、白いブレザーの選手がおります。紺のブレザーの隣には、真っ赤なブレザーの選手がおります。そして、選手の手を振りますその彼方には、7万5000の大観衆を収容した、このスタンドがあります。まことに、和やかな風景であります。これがオリンピックであります」

NHK 土門アナウンサー

■大坂なおみ選手のメッセージ

オリンピック延期のニュースが報道された数日前から、この思いをどうやって皆さんに伝えられるかずっと考えていました。残念という言葉だけでは言い表せない気持ちです。

サポーターの皆さんは私にとって母国である日本で開催されるこのオリンピックがどれだけ重要な意味を持っているのかご存じだと思います。安倍首相とIOCの決断は非常に難しいものだったと思いますが、私をはじめ、すべてのアスリート達は2021年の舞台に向けてトレーニングに全力を注ぐ事と思います」

「スポーツは人々の心を繋ぎ、感動を与えるパワーがあります。しかし、今私達がしなければいけないことはスポーツを救う事では

なく、世界中の人々が人種や国籍の壁を越えて、数多くの命を救うのが一番大切なことです。それこそまさにオリンピック精神ではないでしょうか」

「日本人のみなさま 2021年に我が国の美しさを世界の皆様に見せましょう。それまで、どうか健康に気を付けて、思いやりの心を忘れずに、みんなで頑張りましょう」

現在、テニスツアーは新型コロナウイルスの影響で少なくとも6月7日まで中断となっているが、できるだけ早く事態が終息し、再び選手たちがコートで活躍する日が一日でも早く訪れることを願いたい。

大坂なおみ